

好評発売中

通気層内の延焼防止に。

・ファイアーストッパー [JVKF-15/JVKF-20]

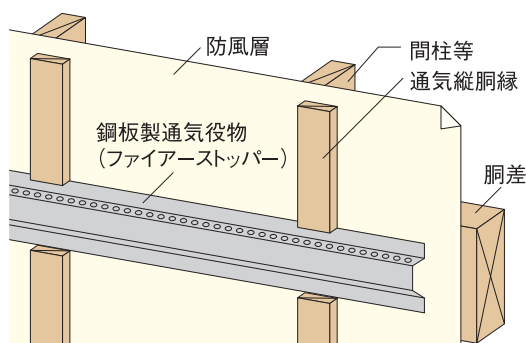
ファイアーストッパーとは？

ファイアーストッパーとは、外壁通気層の各階桁部分に設置し、通気層内の延焼を防ぐための部材です。厚さ20mmまでの通気層に対応します。

通気層内に設けるファイアーストッパー材に関しては、建築基準法および関係法令には記載がなく、法的な規定はありませんが、一般財団法人日本建築センターによる木造建築物の防・耐火設計マニュアルでは、通気層内に「ファイアーストッパー」を設けることが推奨されています。万が一の火災に備えて対策しましょう。

木造建築物の防・耐火設計マニュアルより

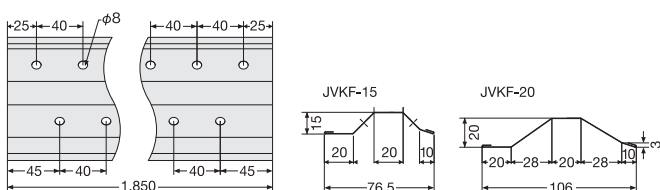
近年、外壁屋外側の防火被覆材の内側に通気層を設けて、土台部分から軒裏まで通気をとる工法とすることが多い。この通気工法においては、通気層内のファイアーストッパーが各階ごとに完結していないことが一般的である。火災時に外壁屋外側の防火被覆材の裏面の下地面材等に着火した場合、通気層を通じて火災が上層階へ拡大するおそれがある。そのため、外壁屋外側防火被覆を通気工法とする場合には、このような延焼を防止するために、常時は通気を確保しつつ、火災時には延焼防止の機能を果たすようなファイアーストッパー（不燃性の通気金物など）を通気層内に設けることが望ましい。



出典：一般財団法人 日本建築センター「木造建築物の防・耐火設計マニュアル ―大規模木造を中心として―」

品番	JVKF-15	JVKF-20
色・柄	無塗装	
長さ	1,850mm	
材質	GL鋼板(厚さ:0.27mm)	
梱包	10本/ケース	
正価	1,810円/本	2,100円/本

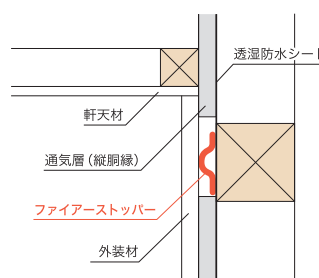
※ 有効換気面積:12cm²/m



※ 製品に関する詳しい情報は、当社WEBサイトをご覧ください。

参考納まり図

●軒天部の納まり図



●高さ3m以内の納まり図

